

山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

yamagata yori-i プロジェクト

事業創出 第8弾

地域に眠る”空き家”を移住者が輝ける”ステージ”へ

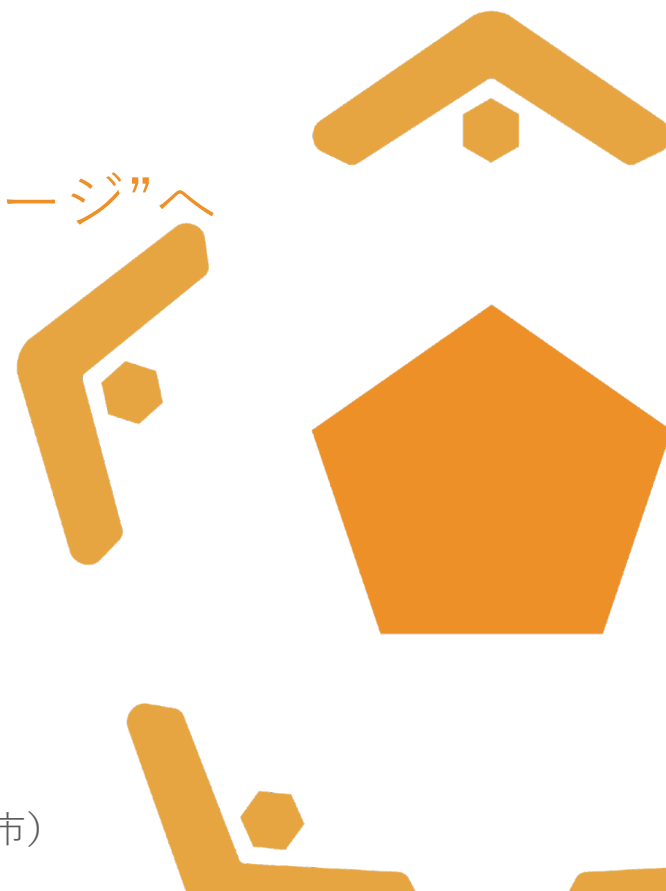
空き家対策・移住コーディネート事業
記者発表

山形大学アントレプレナーシップ開発センター
センター長 教授 小野寺忠司

【記者発表】

10月31日（火）14時～15時

@スタートアップステーション・ジョージ山形（山形市）



過去から本質を理解して、
未来のあるべき姿に向かって
創造し行動することで、
最上から日本や世界を良くしていく

これまでの発表実績 01

第1弾

(令和4年8月31日記者発表)

一般社団法人 最上イノベーションエクスキュート

アジェンダ：人
解決する課題：教育サービス不足への対応

【参画企業】

株式会社JPD、株式会社ヤマムラ、
学校法人新庄学園

【目的】

- ① 中高生のアントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成
- ② 論理コミュニケーション力を身につける場の提供
- ③ イノベーションをもたらす新たな価値を創出するための思考・行動要素を持つ人材の育成



第2弾

(令和4年9月30日記者発表)

最上地域 早生桐産業創造プロジェクト

アジェンダ：環境保全、産業
解決する課題：森林資源減少の抑制

【参画企業】

株式会社佐藤運送、
有限会社グリーンバレー 等

【目的】

杉に比べて成長の早さが10倍、二酸化炭素の吸収量が5倍の早生桐の森林造成を通じ、
① 荒廃地の再利用等による環境の保全
② 桐材の商品化等による地域林業の再構築を目指す。



2年目の早生桐
直径14cm



5月植栽の早生桐
人物は身長170cm

第3弾

(令和4年11月14日記者発表)

「大学食堂おいしい山形」プロジェクト

アジェンダ：人、産業
解決する課題：交流人口拡大、所得向上

【参画企業】

一般社団法人スマートニッチ応援団

【目的】

首都圏の学生が最上地域の食材をふんだんに使う「学生食堂」を東京都内に開設し、そこで最上エリアの地域資源をPRすることにより、最上地域の持つ価値の再構築と山形ファンづくりを行う。



これまでの発表実績 02

第4弾

(令和5年6月20日記者発表)

「共創の拠点」をつくる 「サイヒロコプログラム」

アジェンダ：環境保全
解決する課題：若者流出、DX技術の向上

【参画企業】

一般社団法人SAI
東日本電信電話株式会社
エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ
株式会社

【目的】

世界的な環境アーティストであるサイヒロコ氏からアート思考を学びつつ、氏の作品と親和性の高いデジタル技術を活用してメタバース山形県をつくり、その中で自分がやりたいことに挑戦することを通して、起業・創業のアイデアを見つけ出すことを目指す。



第5弾

(令和5年7月11日記者発表)

合同会社 Circular Thanks

アジェンダ：健康
解決する課題：地元食材を活用した健康増進、「食」を通じた魅力発信

【参画企業】

合同会社 Circular Thanks

【目的】

最上地域の伝承野菜や山菜など、健康機能を持つ素材を活用し、ストレス社会における美容と健康に関する問題解決に挑むとともに、「食」を通して山形県全体の魅力を発信する。



第6弾

(令和5年7月18日記者発表)

株式会社リンクス

アジェンダ：健康
解決する課題：スポーツを通じた地域の人々の健康増進

【参画企業】

株式会社リンクス
新庄商工会議所

【目的】

共通の知人の紹介で両者が出会い、目的が一致し、共に法人化の検討をはじめたことがきっかけとなり、地元の支援機関である新庄商工会議所と連携して支援を実施。スポーツを通じた地域の人々の健康増進を目的に株式会社を設立。



これまでの発表実績 03

第7弾

(令和5年8月8日記者発表)

道楽 神室ベース立ち上げ

アジェンダ：環境保全
解決する課題:アクティビティを通し、自然を体感することで金山の自然環境を認識する

【参画企業】

道楽株式会社

【目的】

町内外の若者をメインターゲットとし、グリーンバレー神室における豊かな自然環境を通じて自然環境の大切さに気づき、環境への関心を持つ人々を増やすこと、さらには金山町全体の活性化に繋げていくことを目指す。その達成に向けて、自然アクティビティを主軸とする株式会社を設立。



「地域に眠る空き家を移住者が輝ける”ステージ”へ」 空き家対策・移住コーディネート事業

アジェンダ : 人

解決する課題：空き家を求める移住者と放置される遊休不動産のミスマッチ

ボードメンバー RoomruBe 代表 梅津くれ緒 氏

「築古物件の流通を通して、地域のご縁・想いを移住者に繋いでいくコーディネートをしたい」という思いで、2021年に独立。コワーキングスペース事業や広く山形県内で不動産仲介を扱う。また、SNSなどを通じた独自のネットワークにより、県外からの移住相談や開業相談を多数受ける。

yori-iによるモデル地域のヒアリングにて、当初より地域の担い手対策としての「移住支援」「空き家対策」というキーワードが挙がっていた。実際に「空き家はたくさんあるのに移住したくても地域に住むところがない」という声もあった。こうした地域の課題をビジネスで持続可能に解決していくyori-iの理念に賛同いただき、RoomruBeのボードメンバー加入に至る。

9月から「人アジェンダ」の中でテーマ化を行い、計画の策定等について支援を開始。支援により新たに事業体制を整え、新規事業として空き家対策・移住コーディネートを開始。

3 力年の展開

令和4年度（1年目）	令和5年度（2年目）	令和6年度（3年目）
<p>□ 立上げ、組織化、データ分析、ビジネスアイデアの洗い出し</p>	<p>□ アイデアのビジネスプラン化実装の展開</p>	<p>□ ソーシャルイノベーションのプロセス確立と、他地域展開検討</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別に企業訪問し、ボードメンバーとしての参画を依頼 ■ 3町村でのヒアリング ■ アジェンダの設定 ■ 5つのアジェンダ分科会を平行で運営 ■ RESASを活用した施策立案支援事業との連携 <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>立上げ事業数：3</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前年度発表した事業のフォロー ■ 各アジェンダにつき5～8のビジネスアイデアを実装に向けて検証 ■ 地元企業への参加依頼 ■ ボードメンバーとのマッチング ■ 5つのアジェンダ分科会を平行で運営 <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>立上げ事業の目標値：12～15 (1アジェンダあたり2～3を想定)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発表した事業のフォロー ■ 事業評価に必要なデータ集積 ■ 5つのアジェンダ分科会を平行で運営 ■ ビジネス化の伴走支援 ■ 資金調達支援 ■ 他地域へのプロセス展開 <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>他地域への展開</p> </div>

まとめ

142の
ボードメンバー



約30の
ビジネスアイデア

地域課題の解決 と 起業家の創出

イベント実施だけでなく、経済効果を出すこと、利益を生み出すエコシステムをつくることを主軸に、引き続き事業を展開していく